

試行認証実施とガイドライン作成のイメージ

試行認証の目的と実現方法
試行認証の成果物

1. 適合性評価

一般に、標準・規格・規定が必要とされる場合、さらに、その標準・規格・規定を、対象となる製品・サービス・プロセスが満たしているかどうかを確認する行為（**適合性評価: Conformity Assessment**）が必要

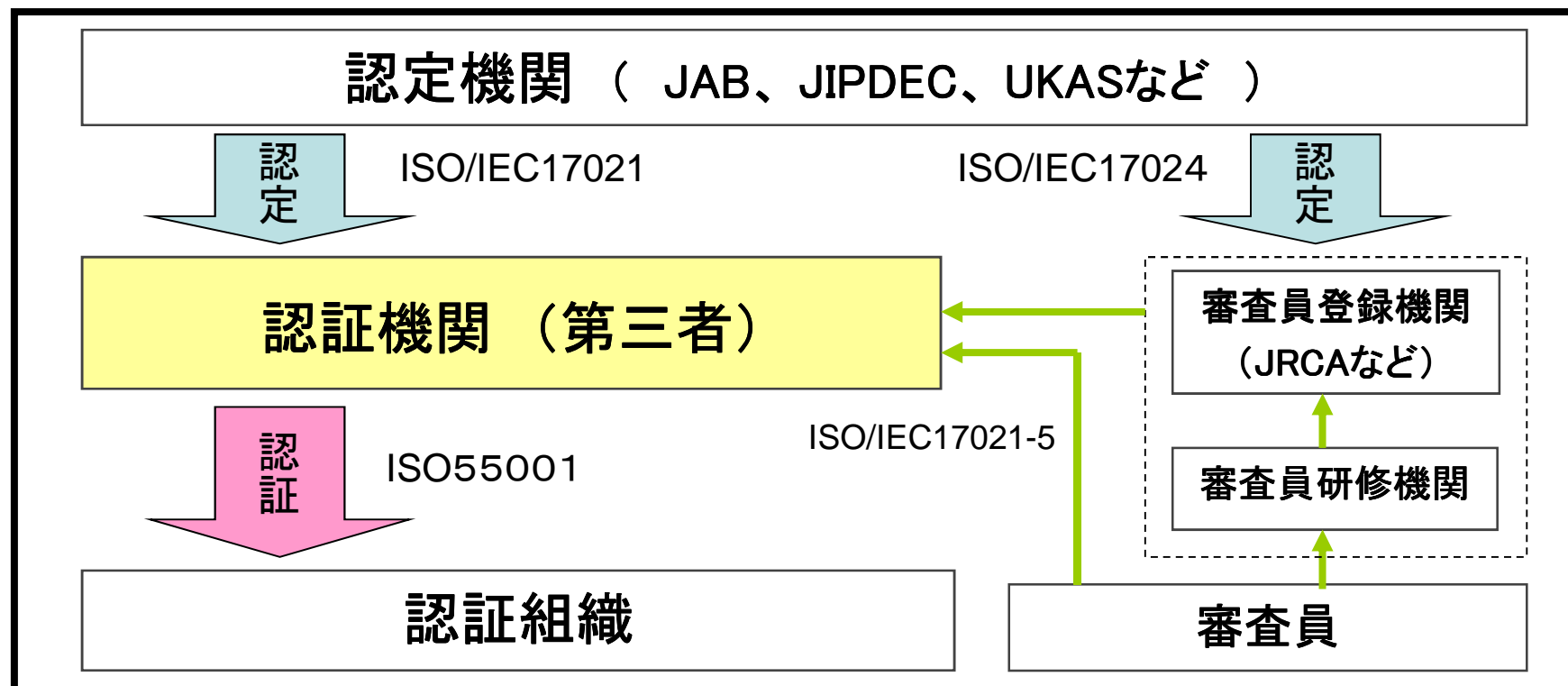
2. 認証

適合性評価の客観性が求められる場合、製品・サービス・プロセスの受け渡しの当事者（供給者or購入者）と無関係の第三者（Third-party）が評価を行うこととなる。

このように「製品、プロセス、サービスが特定の要求事項に適合していることを第三者が文書で保証する手続き」を**認証 (Certification)**という。

3. 認定

第三者機関が行う認証に、偏りや不正確があると、標準・規格等の信頼性の低下等、種々不都合が生じる。このため、権威ある機関が認証機関の認証遂行能力を審査し、公式に承認する行為を行う必要がでてくる。この行為を認定 (Accreditation)という。



- 認証機関はISO/IEC17021に従ってISO55001の認証プロセスを実施
- 認証機関はISO/IEC17021-5に従って審査員のコンピテンスを確保
- 認定機関はISO/IEC17021に従って認証機関の上記の活動を認定

(補足説明)

- 新規格発行時は認定機関は、認証機関のプライベート認証が増加した段階で事業性を考慮し認定活動を開始することが一般的。
- 認証機関では審査員研修機関、審査員登録機関機能の内製化が進んでおり、両機関を利用しないケースも多くなっている。

(注) JAB (Japan Accreditation Board for Conformity Assessment)

JIPDEC (Japan Institute for Promotion of Digital Economy and Community)

UKAS (United Kingdom Accreditation Service)

JRCA (Japanese Registration of Certificated Auditors)

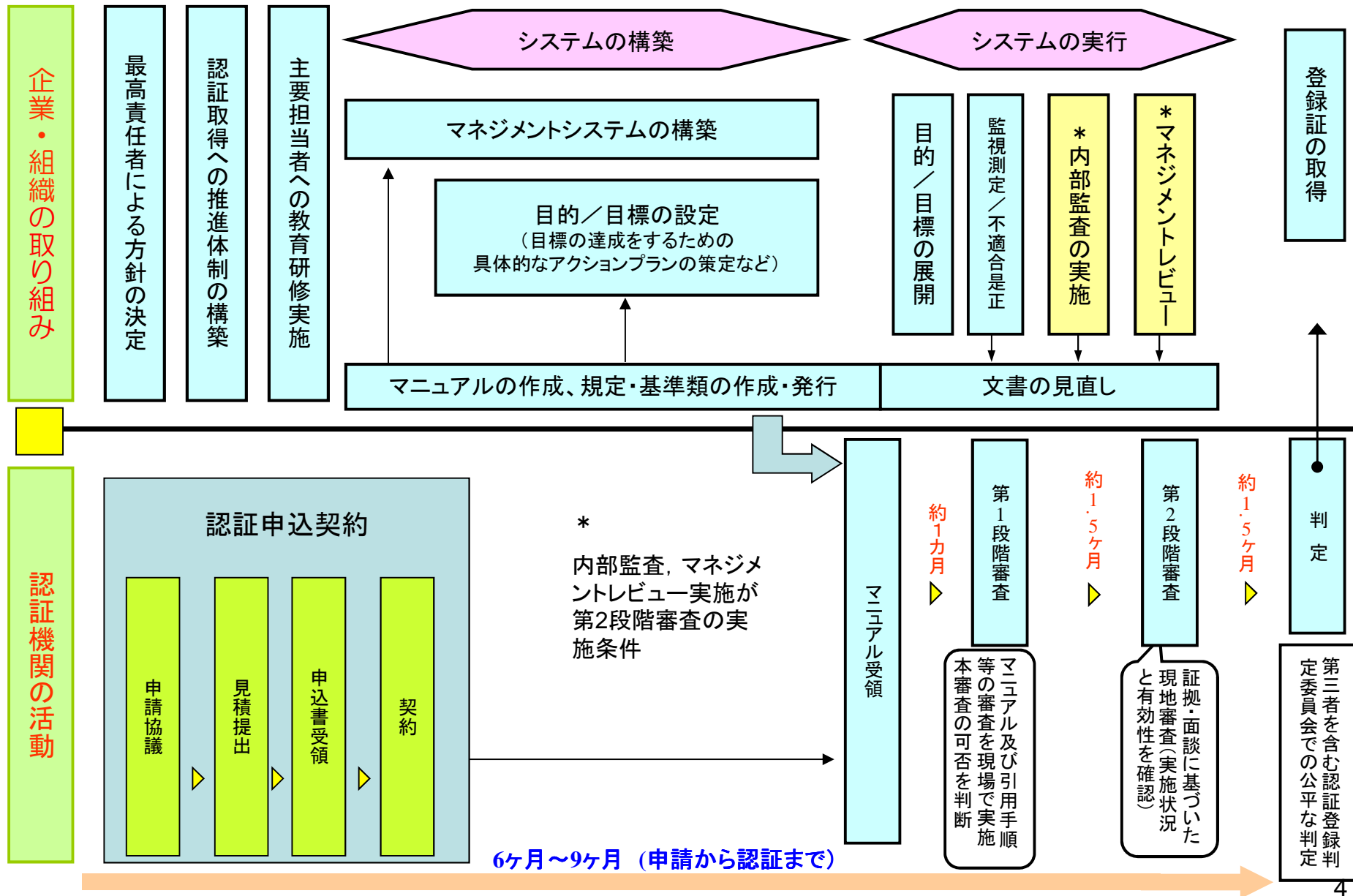
日本適合性認定協会

日本情報経済社会推進協会

英国認定機関

日本規格協会マネジメントシステム審査員評価登録センター

マネジメントシステム認証プロセスの一般的な進め方



なぜ「試行」認証を実施するのか？

試行認証の必要性

- 新規発行時は認定機関は直ぐに認定を実施せず、
認証機関の独自認証が増加した段階で事業性を考慮し認定活動を開始するのが一般的
- 諸外国(英国など)の認証機関には、既にPAS55等のノウハウが蓄積されていることから、ISO55001発効後速やかに認証体制が立ち上がることが予想(=懸念)される。



試行認証の実施を通じ、

- 国内でのISO55001認証の普及と活用を推進し、民間事業者の競争力を強化
- 国内での認証体制の確立

ISO55001認証のねらい

- 認証の外的価値
 - **世界に通用するISO55001認証**
 - 民間事業者による**海外展開での信用確保**
- 認証の内的価値
 - 民間事業者の**競争力強化**
 - 地方公共団体の**経営力強化**(マネジメント体制確立のベンチマーク) 5

試行認証の課題と実現方法

認証の課題

- ISO認証が形骸化し、信頼性が低下
- ISO認証が経営に役に立たないという評価

→ 「悪貨が良貨を駆逐」することにならない工夫が必要

認証価値の実現方法

- 世界に通用する認証の実現
 - **グローバル基準ISO/IEC17021**に基づいた認証プロセス
- 適切なガイドラインによる認証と有効性向上への貢献
 - **成熟度評価**に基づく適合性評価(ベンチマーク手法との融合)
 - 期待される成果(Expected Outcome)に基づきブレークダウンされた視点に基づく**課題解決指向の監査手法**

国内組織でのISO55001認証取得の実証

- アセットオーナー: 地方公共団体(仙台市)
- サプライヤー: 民間事業者(水ing(株) 松永浄化センター(広島県福山市))

ISO55001に関する2種類のガイドラインの作成

①適合性評価ガイドライン

- 対象者: **認証機関、認証取得機関の内部監査**
- 特長
 - **成熟度評価に基づく適合性評価ガイドライン**
 - » ISO9004、アクアマークなどのベンチマーク手法を併用
 - **認証取得組織と認証機関との新しい関係**
 - » 組織と認証機関が相互に適合性評価ガイドラインを共有
 - **下水道事業運営における地方公共団体と民間事業者の立場の相違に留意**

②システム構築ガイドライン(ユーザーズガイド)

- 対象者: **システム構築に関わる経営者、管理者、担当者**
- 特長
 - **システム構築結果と適合性評価のギャップを小さくするため、適合性評価ガイドラインと整合した内容**
 - **下水道事業運営における地方公共団体と民間事業者の立場の相違に留意**

マネジメントシステム認証の世界基準(ISO/IEC17021※1)に準拠した認証プロセス

※1) ISO/IEC17021:適合性評価－マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項

第1段階審査

- 第2段階審査のための準備が整っていることを実証
 - － マネジメントシステム文書、事業所固有の条件、主要なパフォーマンス、プロセス、目的及び運用の特定などの情報収集と評価
 - － 第2段階審査において不適合として分類される可能性が懸念される全ての領域の特定
- 少なくとも、一部を依頼者の所在地で実施することが望ましい

第2段階審査

- 有効性を含む、依頼者のマネジメントシステムの実施を評価する
- 依頼者の事業所において実施しなければならない

ISO/IEC 17021-5※2に準拠する審査機関の能力確保に関する課題

※2) ISO/IEC17021-5:適合性評価－マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項
第5部:アセットマネジメントシステム認証のためのコンピテンス要求事項
(PTDS(予備技術仕様書原案)段階)

5.2 審査チームが保有すべき知識と理解

- 資産登録、意思決定と優先順序付け、アセットマネジメント向けツールと手法、ライフサイクルコストリング、リスクマネジメント、投資・運用・維持計画と実行、統計的サンプリング手法

試行認証の成果物開発スケジュール

活動項目		平成25年度								
		7	8	9	10	11	12	1	2	3
55000推進責任者委員会			★ 計画		★ 中間成果物 レビュー		★ 認証進捗 レビュー		★ 成果物 レビュー	
試行 認証	ギャップ分析 (ISO/IEC17021準拠)	第1段階審査 (分割)	第1段階審査(分割) ★ ↓ ★ ↓ ★ ↓ ★ ↓							
	認証取得機関による ギャップ改善	改善活動	改善活動							
	認証 (ISO/IEC17021準拠)	第1段階審査 (最終) 第2段階審査	第1段階審査(最終) ★ ↓				第2段階審査 ★★ ↓ ◎ → 認証証発行			
ガイド ライン	適合性評価 ガイドライン	認証視点	ドラフト		認証版		最終版			
	システム構築 ガイドライン	ユーザー視点	ドラフト		最終版					
説明会										★ ↓

適合性評価ガイドライン目次

- 1. ISO55001適合性評価の信頼性確保の課題と方向性**
ISO9001などでの懸案事項の克服とISO55001認証の信頼性確保
- 2. 民間事業者の契約責任に対応した適用範囲と認証基準**
組織及びその状況の理解とその適用範囲の妥当性基準
- 3. ISO55001適合性評価でのISO55002の位置づけ**
ISO55002推奨事項のISO55001適合性評価への反映基準
- 4. ISO55001適合性評価への成熟度評価の組み込み**
成熟度評価の組み込みによる信頼性確保と改善への活用
ISO9004成熟度評価、その他成熟度評価、ベンチマーク手法の利用方法
- 5. 下水道分野でのISO55001適合性評価ガイドライン**
ISO55001、ISO55002、成熟度の下水道分野に翻訳した適合性ガイドライン
- 6. 下水道分野での課題解決指向のISO55001適合性評価**
課題とExpected Outcome(期待される成果)の整理
下水道分野の課題・期待される成果とISO55001要求事項のマッピング
課題解決指向の監査手法の方向
- 7. 下水道分野でのISO55001監査証跡とサンプリングの考え方**
信頼性確保のための監査証跡の確認方法と必要な監査証跡のサンプリング基準

1. ISO55001導入のための基礎知識
 - ISO適合性評価制度について
 - ISO55001とISO55000、ISO55002との関係とその活用
 - ISO55001導入の目的、メリット

2. ISO55001導入の進め方
 - 適用範囲の決め方
 - 推進体制、教育

3. ISO55001規格の解説（資料4－2参照）
 - 箇条の解説
 - 箇条要求事項の実施の手引き
 - 箇条要求事項の図解
 - 内部監査の方法（チェックリスト、成熟度評価など）

4. ISO55001導入の注意ポイント
 - 民間事業者
 - 地方公共団体

主な論点・課題

- マネジメントの時代に向けた「循環のみち下水道」成熟化への貢献
 - 民間事業者の国際競争力強化
 - 地方公共団体の経営基盤強化
- ISO55001要求事項の下水道分野での具体化
 - 試行認証プロセスを通じたISO55001要求事項の下水道分野への適用
- 民間事業者に対する認証基準
 - 包括民間委託契約に基づく受託者の権限・責任とISO55001要求事項との整合性
 - 民間事業者におけるISO55001の取得範囲
- ISO55001認証の信頼性確保
 - 成熟度評価の活用、適正な認証レベルの設定
- ISO55001の活用方策
 - コンセッション・DBO等のPPP/PFI事業への活用検討